

◇牧師室から◇

参議院本会議で「新ガイドライン関連法案」が可決された。この新法成立は日本にとって大きな転換点になる。1951年のサンフランシスコ講和条約締結は、侵略戦争をした日本が世界に認知されることであった。新ガイドラインは、アメリカの起こす戦争に自衛隊はもとより自治体も民間も支援しますと世界に向かって宣言したようなものである。平和憲法は完全に反故にされた。自社対決の55年体制の時は国会にまだ緊迫感があった。野党のないような現在は、自民党の言いなりで十分な審議さえ行われていない。

「過去に目を閉ざす者は現在にも盲目となる。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は同じあやまちを犯す」という有名な講演をしたドイツのヴァイツゼッカー元大統領が来日された。日本でのシンポジウムで下記のように語られたという。

「ナチス時代、ドイツはユーゴ

に対して残虐の限りをつくして大量虐殺した歴史を負っている。だから、歴史に心を刻めば、NATO空爆は考えられないはずだった。NATO空爆はあやまりであり、ドイツがそれに参加したことは残念だ。今回、戦後はじめて、ドイツ外交は失敗した。この問題にかんして、ドイツはもはや民主主義の手本とはなりえない」。更に、「日本は、日本の持つ平和主義の影響をもっと強くアメリカに及ぼすべきだ。日本にはそれができず、EUと日本がいっしょになってアメリカに発言することも考えては」と提案された。

永六輔氏は「新ガイドラインは日本人だと思うから腹が立つんです。アメリカ日本州だと思えば納得します。政治家はそう思っているんですから」とちやかしながら書いている。

法案成立した今からは、この新法を実行させない手だてを国民の側で構築していく以外にはない。平和を求める国民一人一人が「平和を実現する」力になっていかなければならない。

週 報

1999年5月30日 聖霊降臨節第2主日

三位一体主日

巻20

9号

1999年度 教会主題

「互いに仕え合う」

聖句 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
 2. キリストの体なる教会形成に参与する。
 3. 教会創立20周年記念に備える。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 **秋吉隆雄**